

東金市幼稚園・保育所・認定こども園共通アプローチカリキュラム

		アプローチカリキュラム 9月～3月(5歳児)		予想される子どもの姿 4月～(1年生)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 体を十分に動かし、友達と一緒に目的をもった活動に取り組むことの楽しさを味わう。 友達と互いに思いや考えを出し合い、力を合わせて遊びを進めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と共通の目的をもって遊びや生活を進め、やり遂げる喜びと充実感を味わう。 就学への期待をもち、自信をもって生活する。 		<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れ親しむ。 学校生活に必要な習慣を身に付ける。(掃除の仕方、給食の配膳等) 先生や友達に元気よく挨拶をする。 クラスの友達や上級生との交流を楽しむ。 学校の中の施設について知る。(学校探検) 学校の中にはどのような人がいるのかを知る。 準備や片づけ等、身の回りのことは、自分で行う。 その場に合った言葉の使い方ができる。
知識及び技能の基礎	<p>「気付く」「できる」「分かる」</p> <p>「工夫する」「試す」</p> <p>「考える」「表現する」</p> <p>「工夫する」「試す」</p> <p>「考える」「表現する」</p>	<p>「工夫する」「試す」</p> <p>「考える」「表現する」</p> <p>「工夫する」「試す」</p> <p>「考える」「表現する」</p>	<p>「工夫する」「試す」</p> <p>「考える」「表現する」</p> <p>「工夫する」「試す」</p> <p>「考える」「表現する」</p>	<p>「工夫する」「試す」</p> <p>「考える」「表現する」</p> <p>「工夫する」「試す」</p> <p>「考える」「表現する」</p>
育みたい資質・能力	<p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p>	<p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p>	<p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p>	<p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p> <p>「粘り強く取り組む」</p>
家庭連携の	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣を見直し、早寝早起き朝ごはんを家庭と一緒に習慣としていく。 行事に参加してもらうことで成長を共に喜び、就学へ向けて連携をとっていく。 おたより、ドキュメンテーション等を通して、園での様子を知らせていく。 就学に向けての保護者の不安に寄り添い共に考えていく。 			
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> 連携会議等(保幼小職員が集まり、情報を共有することで小学校のスタートがスムーズにいくようにする。) 交流会(1年生と年長児で交流を図ることで、小学校がどんなところなんだろうという不安を少しでもなくなるようにする。) 保幼小研修会(一同に会し、同じ研修を受け共通の認識を持つことで、スムーズな接続を図る。また、職員同士の交流の場とする。) 小学校の運動会に参加:招待児レース(小学校へ行き、行事に参加することで学校への不安をなくし期待が持てるようにする。) クラス編成会議(入学に向けクラス編成を行い、小学校へ子どもの情報提供をすることで、学校生活が安定して送れるようにする。) 指導要録(保育要録)の提出(指導要録等に子どもの成長過程を記入し提出することで、小学校での支援や指導がスムーズに行えるようにする。) 			

幼児期の終わりまでに育って欲しい姿「10の姿」

- 健康な心と体**
●保育者や友達と十分体を動かして楽しめるよう遊具などの環境を整備する。*生活の中で次は何を何のためにするかを自ら考えて行動できるようにする。
- 自立心**
●「頑張った」「我慢したり」「自分がすごいと思ったり」する経験ができる機会をたくさんつくっていく。
- 協同性**
●友達と一緒にやることで、自分一人でやるよりも、もっと大きくて素敵なことを実現できるという体験ができる環境を作っていく。
- 道徳性・規範意識の芽生え**
●ルールを理解したり、その必要性に気付いたり、という道徳性や規範意識、自分の気持ちを調整する力や人への思いやりの気持ちを育てていく。
- 社会生活との関わり**
●地域の方とのふれあいの場を設けたり、公共の場の利用の仕方を知らせていく。
- 思考力の芽生え**
●友達や保育者との対話を通して新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わえるようにする。
- 自然との関わり・生命尊重**
●様々な自然との出会いを工夫し、そこで遊ぶことを通して自然に親しみ、大切にすることを育てていく。
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚**
●遊びや生活の中で、数量や図形、文字などに会い、その必要性が感じられる体験を重ねられるようにしていく。
- 言葉による伝え合い**
●大人の言葉や物語から言葉の刺激を与えられるようにし、遊びや生活の中で言葉を使っているやり取りの場面を多くもつようにする。
- 豊かな感性と表現**
●作品の最終的な形ではなく、表現しているときの子どもの喜びや工夫に気づき、しっかりと受け止め他の子にも伝えることで表現する楽しさを味わえるようにする。

予想される、小学校教諭の環境構成(○)と配慮事項(*)

- *子どもの不安を受け止め、新しい生活に慣れていけるよう一人一人の様子を注視し、接するようにする。
- 学校生活に必要なきまりやマナーを可視化することでわかりやすくする。
- *話しやすい雰囲気作りをし、信頼関係を築いていく。
- 上級生との交流をもつことで安心して学校生活がおくれるようにする。
- 生き物の世話をすることで学校に親しみがもてるようにする。

※活動内容は事例であり、園や年度により異なります。 ※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿【10の姿】」は到達目標ではなく「このような方向に向けて指導を進めよう」という方向性です。
 ※5歳児の8月以前の活動については「共通カリキュラム」の「年間指導計画」を参照してください。 ※「予想される子どもの姿」は、就学前児童施設側から予想する姿であり、東金市の共通の「スタートカリキュラム」ではありません。